

課目名	理容実習（実務経験のある教員等による授業課目）		
実務経験	理容師として従事した教員が実習授業を行う		
単位(時間)	900時間（30単位）	授業方法	実習
実施方針	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を得得させること。理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。		
授業内容と計画		時間	内容
	カット	250	シザー持ち方、コームの持ち方、セイムレイヤー、ワンレングス
			ミディアムカット、グラデーションボブ、メンズカット
			実技テスト、国歌試験セイムレイヤーカット
	シェービング	120	レザー操作、基本プロセス、シェービング手順、レザーテクニック
			相モデル、眉毛・ヒゲの手入れ
			総合 適切な施術時間 接客対応 仕上がり確認
	フェイシャルトリートメント	30	スチーミング 立ち位置 姿勢 手指の動かし方
			乳液塗布 マッサージ 拭き取り
			実技テスト
	ヘッドマッサージ	20	手順
			技法練習
			手順テスト
			相モデルテスト
	ワンレングス	40	ラップブロー
			テンションブロー
ラップブロー～テンションブロー			
アイロン操作			
ワインディング	80	ブロックング、セッティング、上巻き、下巻き	
		センター巻き、右サイド、左サイド	
		全頭巻き、実技試験	
シャンプー	100	スタンドシャンプー手順、フロントシャンプー	
		スタンドシャンプー～フロンシャンプー	
		サイドシャンプー手順	
		サイドシャンプー練習	
		相モデル 実技試験	
トータル実習	70	シャンプー フェイシャルケア 相モデル	
		シャンプー ヘッドマッサージ フェイシャルケア	
		シャンプー シェービング	
		ヘッドスパ シェービング ネットリンパ 総合 各種技術の組合せ	
カラーリング	60	使用用具について	
		基本プロセス	
		基礎テクニック 塗布練習	
		リタッチテクニック	
創作ヘア	40	ステージ用ヘア創作	
		フリースタイル	
実務実習	30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ	
	30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ	
大会練習	30	大会種目の集中練習	
評価方法と基準	出席率85%以上 授業の取り組み評価 試験60点以上 60点未満は追試		試